

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより 9月号

平成24年度No.5 (通算34号)

平成24年8月19日

夏休み作品展に思う

校長 藤田辰夫

夏休みが終わり、2学期が始まります。本校では、9月6日(木)・7日(金)にランチルームで、夏休み作品展を行います。特別に、保護者の皆さんには案内は出しませんが、時間があればご来校いただき作品をご覧ください。

さてここで、夏休みの作品を、どう受けとめたらいいのかを、考えてみたいと思います。私がまだ担任をしていたころは、夏休み帳があって、場合によっては教科の宿題があり、さらに自由研究・自由課題もあって、たくさんの宿題をしなければならない状態でしたので、その自由研究や自由課題は、どうしても親の手が加わったものが多くありました。教員も保護者も、「この作品は親の手が入ったものではないか。」と話題にしていました。高学年になれば、子どもたち同士でもそういう話をしていました。

ところが、ある年、6年生を担当していたとき、一人の女の子が家庭科の作品で、エプロンを作ってきました。フリルのついたかわいいエプロンで、ポケットにはその当時流行っていたキャラクターのアプリケがつけてありました。縫い方や実用性などから、私は一目見て、親の手が入っているなど感じました。そして、作品の名票を見ると何と堂々と「親子共同製作」と記されていたのでした。その子も、「お母さんといっしょに作った。」と公言してはばからなかったのです。

この作品は、私が夏休みの子どもの作品をとらえ直すきっかけとなりました。夏休みの作品作りを通じて、親子のふれあいができるのだということに気がつきました。夏休みの作品にはこういうものがあるのもいいのではないかと。そういう思いで見ると、この女の子の作品から、親子の様々な会話が聞こえてくるような気がしました。子どもの側からすれば、親が身に付けた技術や培われた経験を学ぶいい機会になります。親の側からすれば子どもの学びの姿がわかり、子どもを理解するいい機会になります。こういうことは、夏休みだからこそできることではないかと思いました。家庭教育の一つの形ではないかとも思いました。

私は、とりわけ共同製作を奨励しているわけではありません。子ども自身の力でがんばってやりとげた作品もあるでしょう。これはこれで本当に価値ある素晴らしいものです。家庭の皆さんの援助によってでき上がった作品もあるでしょう。そのどちらであってもかまわないと思うのです。大切なのは、子どもが作り終えた、やり終えたという、満足感なり成就感なりをもって、またやって見ようかなという気持ちになることが、大切だと思うのです。その過程で新しい考えや工夫の糸口を見つけたりすることができれば、夏休みの課題の目標は十分達成できたと思うのです。

作品展には、3つの事柄があろうかと思えます。1つは、子どもの努力を、認め励ます機会にしたいということです。反省しながらも、次への意欲を培いたいのです。できばえのいかんにかかわらず、今年作品は今年で完結します。来年同じものを作っても、それはもう違うものです。唯一の貴重なものとして受け止めたいのです。

2つめは、友だちの作品を見てアイデアに気がついたり、学ぶべきところや、自分の作品に生かせそうなどところを見つけたりするためです。子どもたちは、お互いに刺激し合いながら、自分自身を育てていることを忘れてはならないのです。

3つめは、それぞれの友だちの工夫や努力を認め合い、作品を大切にしようとする心を育てたいのです。作品を比べて、優越感を持ったり、卑下したりするためでは決してないということです。

一人ひとりの子どもの成長と、有意義な夏休みを過ごすために、この作品展があるのだということをご理解いただきたいと思います。

最近の行事から

全校計算大会 6月28日(木)、全校漢字大会 7月2日(月)



全校計算大会の風景



全校漢字大会の風景

本校では、学力の基礎・基本を徹底させていくために「全校計算大会」と「全校漢字大会」を実施しています。1学期は6月28日に全校計算大会、7月2日に全校漢字大会を実施いたしました。授業前の朝の活動の時間、子どもたちは学習してきたことを確かめるように、出された問題に取り組みました。

学力の基礎・基本とは、「意味がわかる」「考えられる」ということです。意味がわからなければ、いくらスラスラ読めても無意味です。考えられなければ、いくら計算が速くても何の役にも立ちません。「意味がわかる」というのは、言葉を読んだり聞いたりしてイメージができるということです。「考える」というのは、そのイメージを操作することです。「イメージする習慣」「考える力」は

イメージする練習、考える練習をすることでしか身に付かないのです。基礎・基本を培うため、全校児童が一斉に漢字と計算問題に取り組むことに意義があると思っています。

本校図書館の視察 8月3日(金)



福岡県小郡市学校図書館と小郡市立図書館職員等26名が小郡小学校の図書室の視察に來られました。

学校図書館と市立図書館の効果的な運営と協力体制の推進を目的とした視察です。

本校の図書室経営に関する話の聴講、掲示等を見学した後、図書ボランティアの方による読み聞かせの実演を見学されまし

た。

また、図書室前に掲示した図書ボランティアの方々が作った道具類を熱心に参観されていました。

吹奏楽部 見事金賞受賞！！

8月5日(日)

第51回全日本吹奏楽コンクール山口県大会が、周南市文化会館で8月5日に開催されました。

山口県内から13校が参加し、日頃鍛えた技術を大勢の観衆の前で披露しました。

小郡小学校は「Jalan-jalan ～神々の島の幻影～」という曲を大変丁寧に、かつ崇高に演奏いたしました。全出演校の演奏が終わり、いよいよ審査結果の発表です。「小郡小学校 金賞 ゴールド」という発表に小郡小学校吹奏楽部一同そして保護者から割れんばかりの拍手が起きました。部員の半数が今年度から入部という状況の中で良く頑張りました。



小郡小学校のいじめ対策について

小郡小・生徒指導部

大津市のいじめによる自殺が報道され、保護者の皆様は、小郡小学校でもいじめはないのか非常に気になっていることだと思います。そこで本校のいじめ対策についてお知らせします。

まず、いじめとは、いじめられている子が、「いじめだ」と認識した時点でいじめになります。文部科学省では、「いじめ」の定義を「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」としています。（平成19年2月からの新定義）

小郡小学校では、現在テレビで報道されているような陰湿ないじめは発生していません。しかし、嫌がらせや悪口等、昔わたしたちが大なり小なり経験したようなことは、本人からの訴えや担任の観察、また保護者からの訴え等で何件か把握し指導しています。

小郡小学校の教職員は、自分のクラスでもいじめは発生しうるものであるということを念頭に置き、日々指導に当たっています。また、学期に1回、学校生活に関するアンケートを子どもたちに実施しておりますし、それを基にした面談週間を設け子ども達に聞くことにしています。その他、悩み相談ポストを設置し心配ごとの相談を随時受け付け、必要に応じて担任や教育相談担当による面談を実施しております。

しかし、教師の気づかないところでいじめが発生する場合があります。そのような場合には、保護者の皆様の協力や周りの子ども達からの情報が非常に重要になってきます。そこで、次のようなことがお子さんに見られたときには、ぜひ、遠慮なく学校に連絡していただき、いじめの芽が小さいうちに解決していきたいと考えております。

お子さんが、

- 1 いじめられていると相談してきた。
- 2 家に帰ってきたとき、いつもより元気がない。
- 3 話を聞いても何も答えてくれない。
- 4 クラスでいじめられている子の話をする。
- 5 いじめている子の話をする。

などです。

ぜひ、該当する場合は早急にご一報ください。



最近、情報通信機器の発達にともなって、便利な生活になった反面、新たな弊害も生まれてきております。パソコンや携帯電話などによる書き込みでの友だちに対する誹謗中傷が、いじめの温床になっているということが指摘されています。子ども達がこうした危険な環境にいるということを学校でも充分認識し、情報発信者としての正しい活用や有害サイトへの立ち入り禁止などを指導しています。ご家庭でも、保護者の方の管理のもとで、パソコンや携帯電話をお子さんが適切に利用できるように常に見守っていただきますようお願いいたします。

これからも、小郡小学校がいじめのない明るい学校を維持できるように学校、保護者、地域が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

10月の行事予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
3	月	始業式（13：40）下校 給食開始	2	火	全校朝会
			4	木	6年修学旅行（～5日）給食試食会
6	木	給食費集金日 校内科学作品展（～7日）ALT来校	8	月	体育の日
10	月	委員会活動	10	水	5年自然体験学習（秋吉台～12日）
11	火	にこにこタイム 2年学年PTA活動	15	月	委員会活動 教育実習開始
12	水	ALT来校	17	水	学友区児童会 見守り隊感謝の会
13	木	学年集金日	18	木	参観日（5校時）ALT来校
17	月	敬老の日	19	金	3年社会見学
18	火	ALT来校	20	土	小郡小ふれあいフェスタ
21	金	4年社会見学	22	月	クラブ活動 ALT来校
22	土	秋分の日	23	火	にこにこタイム 市小学校陸上記録会
23	日	山口市科学作品展覧会	25	木	学年集金日
24	月	クラブ活動	30	火	ALT来校
28	金	一日フリー参観日（2～5校時） 音読大会 第3回学校運営協議会 2年交通教室			

<地区懇談会のお礼>

7月の地区懇談会では、区長さんをはじめ、見守り隊、児童民生委員さん等、多数の方にお集まりいただきありがとうございました。

懇談会で出された意見は、PTAで集約し、課題につきましては学校とPTAで協議いたします。また、必要に応じて他機関との連携を図りながら、よりよい方向となるように解決の方策を練っていきたいと考えています。

また、7月10日（火）には、地域、行政、学校合同の通学路点検対策会議が小郡地域交流センターで開催されました。地域、行政とも連携しながら、児童の通学路の安全確保に努力していくこととしています。

なお、通学路の見直し等も含め、より安全な方向へ保護者と学校で考えていきたいと思います。

<9月1日は防災の日>

1923年の9月1日に関東大震災が起きました。その惨事を忘れないため、また、台風の被害の多い時期であることから、1960年に国土庁が制定しました。

小郡小学校でも災害に備えて、毎年、避難訓練を実施しています。避難場所は、校舎内、体育館、運動場ですが、東日本大震災の教訓を踏まえ、校外に避難することも考えています。津波や洪水時の第二次避難場所は、中領八幡宮を予定しています。また、さらに危険な場合は尾崎方面への移動も想定しています。

今夏も、予期せぬ災害が各地で発生しています。いざというときに平素から備えておくことが肝要ではないでしょうか。